

補助金・セミナー等情報のご案内

2022年8月号

助成制度等



特定非営利活動法人
NPOテクノサポート

新型コロナウイルス感染症第7波に拡大、ウクライナ情勢の長期化、原油高・原料高・物価高、リセッションの兆候など経済復活の兆しが中々見えてこない状況ですが、こんな時こそ補助金等公的支援施策を活用していきましょう。メルマガ8月号は助成制度6件、セミナー情報2件をご紹介します。

令和4年度6月補正千葉県事業

『ちば事業再構築チャレンジ補助金』

----- 千葉県 -----

本事業は、新型コロナウイルス感染症や原油・物価高騰等の社会経済環境の変化の影響を受けた中小企業者等が取り組む新分野参入や、業種・業態転換等の事業再構築のうち、**省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの活用等に資するもの**に対して**補助金を交付**するものです。是非ご応募・ご活用ください！！

◎本事業には、①「**上乘せ補助枠**」、②「**県独自補助枠**」の2つの事業類型があります。
各事業者様の状況に応じて申請できる類型が変わりますので、申請の際には十分にご注意下さい。
また、「ちば事業再構築チャレンジ補助金」に一度交付決定を受けた事業者は、再度申請することはできません。

◎申請受付期間：2022年8月5日(金)受付開始～2022年12月23日(金)受付終了
※予算がなくなり次第受付終了となります

※本補助金の詳細は添付の本補助金の申請要領をご参照ください！

1. 【上乘せ補助枠】

◇概要：国の「事業再構築補助金」(第5回公募分以降)の採択を受けた事業(省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの活用等に資するものに限る)に対して**補助**する。

◇補助金額：500万円以内

◇補助率：補助対象経費の12分の1以内

◇補助事業実施期間：国の交付決定の日から、2023年3月31日まで

◇補助事業対象経費：建物費、機械装置・システム構築費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウドサービス利用費、外注費、知的財産権等関連経費、広告宣伝・販売促進費、研修費

令和4年度6月補正千葉県事業

『ちば事業再構築チャレンジ補助金』(続き)

----- 千葉県 -----

2.【県独自補助枠】

◇概要：国の「事業再構築補助金」の採択を受けていない事業者が実施する、新分野参入や、業種・業態転換等の事業再構築のうち、省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの活用等に資するものに対して補助する。

◇補助金額：100万円～1,000万円

◇補助率：補助対象経費の4分の3以内

◇補助対象経費：建物費、機械装置・システム構築費、技術導入費、運搬費、クラウドサービス利用費、外注費、知的財産権等関連経費、広告宣伝・販売促進費、研修費

◎申請受付方法：原則として、オンラインでの提出をお願いします。

①オンライン提出の場合：

本補助金のポータルサイトから提出できます。【URL】<https://chiba-saikouchiku.jp>

②郵送の場合：

申請書類を以下の宛先に郵送してください。郵送にあたっては、簡易書留など郵送物の追跡ができる方法で郵送ください。【宛先】〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町1-45 千葉ポートスクエア内 TKP ガーデンシティ千葉・ちば事業再構築チャレンジ補助金事業 宛

◎提出書類：【上乘せ補助枠】と【県独自補助枠】で提出書類が異なります。添付の申請要領をご参照！

◎お問い合わせ先：ちば事業再構築チャレンジ補助金コールセンター

電話 050-3183-6212 受付時間：午前9時30分から午後5時30分まで

<専用ポータルサイト> <https://chiba-saikouchiku.jp/>

※市原商工会議所・市原市産業支援センターでも相談を承ります

TEL 0436-22-4305 FAX 0436-22-4356 Eメール 1sapo@i-cci.or.jp

『生産性向上のための設備投資補助金』

---- 千葉県 ----

..... 生産性向上のための設備投資補助金

令和4年
9月頃
申請開始
予定

国のものづくり補助金を活用し、生産性向上のための革新的なサービス開発、試作品開発、生産プロセス向上などに取り組みたい事業者向けの補助金です。

補助上限額	補助率
250万円	対象経費の 1/12以内

【参考】国のものづくり補助金

中小企業・小規模事業者が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するもの
補助上限額 750万円～2,000万円 補助率 1/2～2/3

生産性向上のための
設備投資補助金
お問い合わせ先

TEL. 043-223-2718
(商工労働部産業振興課)

受付時間

月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00～12:00・13:00～17:00

◆市原商工会議所(市原市産業支援センター)でも相談を受け付けます。 TEL 0436-22-4305

『脱炭素化促進緊急対策事業補助金』

---- 千葉県 ----

脱炭素化促進緊急対策事業補助金

令和4年
7月より
申請受付中

高効率空調設備や太陽光発電設備などの省エネ・再エネ設備の導入や
電気自動車の購入を行いたい事業者向けの補助金です。

補助上限額	補助率	
1事業所あたり 1,000万円	太陽光発電、充電・燃料 補給設備等の導入の場合 対象経費の2/3以内	電気自動車等の 導入の場合 国補助額の1/2以内

脱炭素化促進緊急
対策事業補助金
お問い合わせ先

TEL. 043-223-4645
(環境生活部温暖化対策推進課)

受付時間

月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00～12:00・13:00～17:00

◆市原商工会議所(市原市産業支援センター)でも相談を受け付けます。 TEL 0436-22-4305

『第39回ビジネスプラン発表会 発表企業の募集』

---- ベンチャークラブちば ----

ベンチャークラブちばでは、千葉県内のベンチャー企業の育成・支援を目的に今年度も『ビジネスプラン発表会～あすのちばを支えるビジネスチャレンジコンテスト～』を開催します。

発表会では、創造的・革新的な経営をおこなう意欲的なベンチャー企業5社に、そのビジネスプランを競っていただきます。市場開拓や資金調達等ビジネスパートナーを求め、新たな事業展開をされる企業の皆様、是非ご応募ください。

- ◆表 彰 : ベンチャークラブちば大賞(1社) 副賞 賞金50万円
ベンチャークラブちば準大賞(1社) 副賞 賞金20万円
優秀賞(3社) 副賞 賞金 5万円
ベンチャースピリッツ賞(1社) 副賞 大企業で経験豊富なメンターによる無償メンタリング

◆応募対象者 : 対象者は(1)～(3)のいずれかを満足し、(1)又は(3)に該当する者は(ア)～(オ)を満足すること

(1) 創業から10年以内で、千葉県内の事業所を置く者

(2) 千葉県内において半年以内に創業を予定する者とする(令和4年6月末現在)

(3) 第二創業者 (既に事業を営んでいる中小企業・小規模事業者において、新事業・新分野に進出するか、または業態を転換して5年以内の者とする(令和4年6月末現在)。

(ア) 株式公開会社でないこと、又は株式公開会社からの出資が2分の1以上でないこと。(イ)原則として、中小企業支援法第2条に規定する中小企業者若しくは中小企業相当の農業法人(農地所有適格法人、農事組合法人等)であること。

(ウ)新技術(商品)開発や役務の提供、新たなビジネスモデル等により創造的・革新的な経営を行う者(エ)暴力団員又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者でないこと(募集要領別紙のとおり) (オ)当ビジネスプラン発表会において、過去に大賞または準大賞(25年度審査員特別賞含む)を受賞していない者

◆応募期間 : 2022年7月1日～8月31日まで(必着)、1次審査10月、2次審査11月、3/6発表会の予定

◆応募方法 : 下記ホームページから応募要領をダウンロードするか、千葉県産業振興センターへお問合せ下さい。

◆お問い合わせ先: (公財)千葉県産業振興センター 新事業支援部 ベンチャークラブちば(事務局)

TEL047-426-9200 FAX047-426-9044 Eメール vc-chiba@ccjc-net.or.jp

ホームページ: [【ベンチャークラブちば】第39回ビジネスプラン発表会 発表企業募集のお知らせ | 公益財](#)

[団法人千葉県産業振興センター \(ccjc-net.or.jp\)](#)

『新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付(新型コロナ対策資本性劣後ローン)』

----- 日本政策金融公庫 -----

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているスタートアップ企業や事業再生に取り組む方等を対象に、財務体質強化を図るために資金を供給する「新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付(新型コロナ対策資本性劣後ローン)」をお取り扱いしています。 ※詳細はHPをご覧ください！

- ◆ご利用いただける方 : 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた法人または個人企業の方であって、次のいずれかに該当する方
 1. J-Startupプログラムに選定された方(注1)または独立行政法人中小企業基盤整備機構が出資する投資事業有限責任組合(注2)から出資を受けた方
 2. 中小企業活性化協議会(旧: 中小企業再生支援協議会を含みます。)の支援を受けて事業の再生を行う方(注3)または独立行政法人中小企業基盤整備機構が出資する投資事業有限責任組合(注4)の関与のもとで事業の再生を行う方(注5)
 3. 上記1および2に該当しない方であって、事業計画書を策定し、民間金融機関等による支援を受けられる等の支援体制が構築(注6)されている方(注7)
- ◆資金の使いみち : 事業を行うために必要な設備資金および運転資金
- ◆融資限度額 : 7,200万円(別枠)
- ◆返済期間 : 5年1ヵ月、7年、10年、15年、20年のいずれか
- ◆返済方法 : 期限一括返済(利息は毎月払)
- ◆利率 : ご融資後3年間は0.50%
ご融資後3年経過後は、毎年直近決算の業績に応じて、2区分の利率が適用されます
- ◆その他 : 本制度による債務については、金融機関の資産査定上、自己資本とみなすことができます。等々
- ◆お問い合わせ先 : お近くの日本政策金融公庫、市原商工会議所にお問い合わせください。

HP; [新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付\(新型コロナ対策資本性劣後ローン\)](#)

↓ [日本政策金融公庫 \(jfc.go.jp\)](http://jfc.go.jp)

『R4年度「千葉ものづくり認定製品」の公募案内』

----- 千葉県商工労働部 -----

～身近な企業が「千葉ものづくり認定製品」に応募し採択されています！ 応募しましょう！～

千葉県では、中小企業が開発・製造する優れた製品や独創的な製品を「千葉ものづくり認定製品」として認定し、広く情報発信するとともに、製品の販路開拓を支援しております。本制度の対象製品を、県内中小製造業等の皆様から広く公募いたしますので、以下の要件や手続きを御確認のうえ、応募いただきますようご案内します。

※詳細は下記のHP、添付資料をご覧ください！

- ◆応募資格：①中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律第2条に規定する中小企業者であること。(※1)
②県内に本社又は事業所を有し、1年以上継続して事業を営んでいること。③日本標準産業分類に基づく製造業又は情報通信業に該当する事業を営んでいること。④申請者の役員等が、暴力団排除に関する欠格事由(※2)のいずれにも該当しないこと。⑤法令又は公序良俗に反する若しくはそのおそれのあることが認められないこと。
- ◆対象製品：①工業製品であること。すなわち、最終製品、部品、ソフトウェアであること。
(食料品、飲料、医薬品、医薬部外品及び農水産物(加工品を含む)に該当する製品その他、体内に摂取又は皮膚に塗布する製品は不可)
②自社製品であって、(ア)製品の主要部分の製造若しくは製品の企画、設計及び開発を千葉県内の事業所で行っていること。(イ)輸入品や、特定会社の受託生産又は受注生産によるものでないこと。
③新製品であって3つの要件を満たすこと。④法令又は公序良俗に反する恐れがある製品でないこと。
- ◆認定基準：①新規性・優位性、②市場性、③信頼性の視点から評価を行い一定の基準を満たす製品を認定します。
- ◆主な支援内容：(1)「千葉ものづくり認定製品」の認定証を交付します。(2)千葉県ホームページに認定製品を掲載し、全国に情報発信します。(3)認定製品を紹介するガイドブックの作成・配布を行います。(4)県及び(公財)千葉県産業振興センターが行う展示会・商談会など販路開拓のために様々な支援を行います。
- ◆応募締め切り：R4年9月29日(木)必着
- ◆応募方法：申請書を県HPからダウンロードし、下記の担当窓口まで持参または郵送してください。
- ◆お問合せ先：〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 千葉県庁本庁舎14階
千葉県商工労働部産業振興課産業技術班 細川 電話 043-223-2718 / FAX 043-222-4555
HP; [令和4年度「千葉ものづくり認定製品」の公募について / 千葉県 \(chiba.lg.jp\)](https://chiba.lg.jp)

本号ではセミナー・イベント2件をご紹介します。尚、参考のため、セミナー等に申込、参加された場合はお手数ですが市原市産業支援センター中小企業コーディネーターまでご一報下さい。

『プラスチック難燃化技術とその市場、法規制の動向』

----- 主催：特定非営利活動法人NPOテクノサポート -----

～最新の難燃技術・市場・法規制について解説します！是非ご出席ください！！～

昨今、火災による財産・人命が失われる等の被害が多く、社会的に大きな問題となっています。プラスチックは日用品や電子機器・建築・包装資材等、様々な分野で利用されていますが、燃えやすく火災の原因の一つであり、メーカーには大きな責任が伴います。その為、**プラスチックの難燃化の要求**が高まっており、プラスチックの難燃化技術の開発が進められている一方、最も多く使用されているハロゲン系難燃剤／酸化アンチモンの難燃剤システムは、環境や健康への懸念がある為、世界的に規制が検討されています。

本セミナーでは、難燃剤の市場や規制動向に加え、ノンハロゲン化も念頭に、要求される目的や性能に応じた難燃剤の選定・配合処方設計の方法などを解説します。安価、オンラインセミナーです、是非、ご参加ください！！

◆日時：2022年10月14日(金)13:30～17:00

◆会 所：Zoomによるオンライン開催

◆内 容：(1)【難燃剤の市場及び規制の動向】講師：宮地 保好氏(NPOテクノサポート、元味の素(株)、工博)
・難燃剤の重要性とその背景 ・難燃剤の種類と特長及び市場動向 ・難燃剤の規制動向
<質疑応答>

(2)【プラスチックの難燃化技術】講師：林 日出夫(NPOテクノサポート、元出光興産(株)、工博)
・難燃が必要とされる背景 ・プラスチックはなぜ燃える？ ・プラスチックを燃えにくくするには
・難燃コンパウンドの現状と課題 ・樹脂別 難燃化技術(配合諸法例) <質疑応答>

◆参加料：5,000円

◆お申込み方法：①添付申込書にの所定事項を記入し、Eメール(seminar@npo-tsupport.org)又は、②次のHPに入り、申込フォームからお申込みください。HP: [特定非営利活動法人 NPOテクノサポート \(npo-tsupport.org\)](https://npo-tsupport.org)

◆お問い合わせ先：特定非営利活動法人NPOテクノサポート 一般公開セミナー事務局 担当：戸村

TEL:080-2266-4699 Eメール:seminar@npo-tsupport.org

『DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入』

----- 主催; ポリポリテクセンター千葉 -----

最近、業務の生産性向上のためにIoTや各種ITを活用したDX(デジタルトランスフォーメーション)が注目されています。自社の業務変革を目指して、業務のシステム化に向け、自社のニーズに合致したシステムを企画できる知識を習得します。是非ご参加ください！！

- ◆日時 : 2022年9月13日(火) 9:30~16:30 (6時間、受付9:15~)
- ◆場所 : ポリテクセンター千葉 (千葉市稲毛区六方町274番地)
- ◆講師 : 森 顕一氏 (株式会社パワートレイン。大手企業のSEとしてメーカー技術者への技術指導、コンサルタントを実施後、多分野にわたり組織マネジメントやIT全般について多くの研修を担当)
- ◆内容 :
 - ①DX導入手法とデジタル技術の活用
 - ②DX導入手順 (DX導入の流れ、演習:DXビジョンと戦略策定)
 - ③システム開発手法
 - ④DX推進検証 (演習:PoCでの検証)
- ◆参加対象者 : 中堅層・管理者層
- ◆定員 : 10名 (最小催行人数6名)
- ◆受講料 : 3,300円
- ◆お申込み方法・お問い合わせ : 添付の申込書に所定事項を記入の上、FAX又はメールでお送りください。
ポリテクセンター千葉 生産性向上人材育成支援センター 生産性センター業務課
TEL 043-422-4631 FAX 043-422-4768 メール chiba-seisan@jeed.go.jp
ホームページ : [116 DXの導入\(jeed.go.jp\)](#)